



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年09月24日 第887号「週刊五十嵐レポート」

中小企業における採用の差別化

中小企業の社長たちに「今の経営課題は何ですか？」と訊くと、「人の採用と育成」と応える人が多い。人の採用に苦労している。

人材の採用に上手くいっている社長にその秘訣を聞いた。採用についての書籍やCD・DVD教材を購入して学び、書かれていることを実行しながら試行錯誤していった。しばらくして大手コンサルティング会社主催の「採用セミナー」に担当者を参加させた。すると担当者からは、「当社の方が先に進んでいます。我々がやってきたことを話していました」と報告があった。

まず第1に、会社説明会でトップ自ら社長が熱く語る。会社のビジョン(3年後、5年後の会社の将来像)や人生観、事業に賭けている姿勢を語る。(採用の書籍に書いてある通り。若い人にもどんびしゃにはまる)。一方、多くの企業は担当者任せで事務的。熱さが感じられない。

第2に、試験を簡単にしない。すぐに内定を出さない。学生に「なんか、軽いな」と思わせない。やっと内定が取れたという「達成感」を持たせる。説明会の後に、1次試験。次は2次試験。その後に食事会。食事会が最終面談になる。価値観や食べ方などを観る。

第3に、内定者に必ず研修を行う。来年3月まで、2ヶ月毎に1回行う。交通費と日当を支払う。終了後は必ず食事会をする。最終は泊りがけの研修。就業規則をきちんと教える。就業規則をほとんど学ぶ機会がないため。給料以外にも会社は負担していることを説明する。

第4に、2月から3月にかけて、内定者の保護者との食事会。お子さんを会社が預かるので、会社の説明をして、誠意を示し、安心してもらう。

多くの企業は1から4までの事を簡単にできない。正に採用の差別化。他社との違いを鮮明にしている。第2の食事会のときに、最後に訊くことがある。それは、「なんで働くの？(何のために働くの?)」。面接で「志望動機は？」はあるけれど、「なぜ働くの？」はない。この問いを出すと、本人の奥底に隠れているものが見えてくる。上手くいっている会社はここまでやる。

ちょっと
気になる出来事

昨年10月からスタートした戦略社長塾東京・小岩校土曜集講座は、9月22日(土)で、全8テーマ48講座が終了。

当初、5名参加が、1年間完走したのは2名。1年前と格段と経営戦略の実力が増していった。感想を聴くと、

「とてもむずかしいテーマでしたが、あっという間に時間が経った気がします。1年経って、やっとランチェスター経営が面白くなってきました。」

「ここで1年間、弱者の戦略を勉強して、実際に実行していく事により、失敗を繰り返しつつも、少しずつ手応えを感じられました。」

2人を見ていた、途中参加の経営者は、「1年間、勉強を続けてこられた経営者の方の話を伺うと、自分のようではダメだと痛感した。」

勉強してそれを実践。これを繰り返していくと、明日の光が見えてくる。これが確信になっていくと人や会社は伸びる。

そのお手伝いできて、私もうれしい。



一口メモ
知識

「一旦停止」で心が育つ

心を育てるには、「一旦停止」するとよいのです。いきおいこんで喋ろうとするとき、「自分は、何を言いたいのか」と、ちょっと止まって自分を観てください。

それから、どんな順番で喋るか、順番を決めて喋ります。行動するときも、何も考えずにぱっと体を動かすのではなく、一旦停止して、あらためて順番に行動を起こすのです。

一旦停止してみると、瞬時に沸き起こる感情の氾濫がおさまります。それが、心をおさめることになるのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

